



関係各位

令和8年10月5日

南東北グループ
一般財団法人 脳神経疾患研究所
附属 総合南東北病院

外国人材（特定技能制度）の受入れについて

1 概要

一般財団法人脳神経疾患研究所など9法人からなる南東北グループ（福島県郡山市、渡邊貞義理事長）は、このたび、介護職における外国人材（特定技能制度）の受入れを10月1日より開始いたしましたので、お知らせいたします。

2 受入れの背景

我が国では、少子高齢化の進展に伴い、生産年齢人口の減少が続いており、医療・介護分野においても人材の確保・育成が重要な課題となっています。一方で、地域医療を将来にわたり安定的に提供していくためには、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる環境を整備し、持続可能な医療提供体制を構築していくことが求められています。外国人の特定技能制度は、外国人が日本で一定期間就労しながら知識や技能を習得するとともに、各分野での資格取得（当グループでは介護福祉士）を目的とした制度です。本制度の趣旨を踏まえ、外国人材の育成を通じた国際貢献と、地域医療を支える人材の育成を目的として受入れをスタートしました。

3 受入れ体制

受入れにあたっては、管理団体や関係機関と連携し、実務指導、日本語学習支援、生活支援など、多面的なサポート体制を整備しています。就労期間中は、所属部署の指導担当者を中心となり、医療・介護現場で必要となる知識・技能の習得を支援するとともに、患者さんとの円滑なコミュニケーションを図るため、日本語能力の向上や日本の医療文化・接遇についても継続的な教育を実施します。住居や生活環境の整備、日常生活に関する相談対応など、安心して生活しながら学ぶことができる環境づくりにも取り組んでいます。

4 地域医療への貢献

当グループは外国人材との交流を通じ、多様な文化や価値観を尊重する組織風土の醸成を図るとともに、職員一人ひとりの国際理解を深める機会として位置付けています。さらに、将来外国人材が日本で習得した医療・介護に関する知識や技術を母国で活かすことは、各国の医療水準の向上や国際社会への貢献にもつながるものと考えています。グループ基幹病院の総合南東北病院は、地域医療を担う中核病院として、質の高い医療の提供に努めるとともに、人材育成を通じた国際貢献にも積極的に取り組んでまいります。

5 今後の展望

当グループは、外国人材が安心して学び、能力を十分に発揮できる教育・支援体制の充実を図るとともに、多様な人材が活躍できる職場環境の整備を進めております。また、地域社会や関係機関との連携を深めながら、持続可能な医療提供体制の構築と地域医療のさらなる発展に貢献してまいります。

6 受け入れ先

一般財団法人 脳神経疾患研究所

附属 総合南東北病院 4名（ミャンマー）

介護老人保健施設 ゴールドメディア 2名（ネパール）

介護老人保健施設 三春南東北リハビリテーション・ケアセンター 2名（ネパール）

介護老人保健施設 泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター 2名（ネパール）

医療法人社団 新生会 南東北第二病院 2名（スリランカ）

医療法人あさひ会 南東北プロヴィデンス 2名（ネパール）

以上、よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

総合南東北病院 総務課広報室

TEL：024-934-5708（直通）

E-mail：pr@mt.strins.or.jp